



Rotary

国際ロータリー第 2610 地区 kahoku Rotary Club

# 河北ロータリークラブ会報

第 2367 回例会  
令和 6 年 5 月 22 日(水)

2023-2024 年度 クラブ目標「魅力あるロータリーを楽しもう」 ■会長 山本 勝己 ■幹事 桶谷 啓悟 ■会報 金津 泰康

## ◇開会点鐘

◇ロータリーソング 「我らの生業」

◇本日のお客様 石川県立看護大学

看護専門領域 成人・老年看護学講座 老年看護学  
教授 川島 和代 様

◇例会挨拶 表 善夫会員



「ホールインワン」

## ◇幹事報告

・今週金曜日 (5/24、17:30～) 第 1 回地区規則・手続・情報委員会に、地区委員として山本会長にご出席いただきます。よろしくお祈いします。

・今週土曜日 (5/25) の運転ボランティアは山口栄治会員です。集合時間は今週のみ 9:15 です。よろしくお祈いします。

・来週 (5/29) の例会は、当クラブ米山奨学生 程莎莎さんの自己紹介、そのあと米山記念奨学会について学びます。

## ◇プログラム

卓話 「超高齢化社会、自分の人生は自分でデザインする」

講師 石川県立看護大学

看護専門領域 成人・老年看護学講座 老年看護学  
教授 川島 和代氏



今年度のシリーズ卓話としてお願いしておりました、石川県立看護大学の教授3名による卓話。

第3回目は、看護専門領域 成人・老年看護学講座 老年看護学の川島和代教授に、超高齢化社会の人生デザインについてお話いただきました。

人生 100 年時代となった今の課題は、健康寿命と平均寿命の差を縮めること。そして、幸福寿命をいかに伸ばすか、さらには貢献寿命をいかに伸ばすか。

誰かの役に立つことは心の筋肉を動かすことであり、心理的な健康度を高めてくれる。高齢者からできることを奪わず、なるべく好きなことを継続できるような社会をつくっていくことが大切ではないか、ということを学ばせていただきました。

## ◇閉会点鐘

## ◆本日のプログラム◆

卓話「超高齢化社会、  
自分の人生は自分でデザインする」

出席率＝76.47%

出席 13 名

欠席 4 名

## ♥本日の寄付カード(R 財団年次寄付)

- 蔵岡 修会員 1,000円
- 松本 亘市会員 1,000円
- 山口 栄治会員 1,000円
- 山本 勝己会員 1,000円

## ♥本日の寄付カード(米山記念奨学会寄付)

- 杉本 正一会員 1,000円
- 室谷 騰会員 1,000円
- 山口博之丞会員 1,000円



## ニコニコボックス



- ・石川県立看護大学 川島様、卓話ありがとうございます。(山本)
- ・川島先生には、卓話いただきありがとうございました。(今城)
- ・川島先生、本日はようこそ。(麿香)
- ・川島先生、卓話ありがとうございました。(高井)
- ・川島先生、本日は素晴らしいお話、ありがとうございます。(星名)

今年度累計額

230,000 円